

九州がんセンター血液・細胞治療科にて HTLV-1 感染症と診断された患者さんおよびそのご家族の皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問い合わせ先までお申し出下さい。
その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	HTLV-1感染宿主における抗HTLV-1免疫の解析			
② 実施予定期間	承認 から 2031年 3月 31日			
③ 対象患者	・九州がんセンター血液・細胞治療科を受診し、HTLV-1感染症と診断され、末梢血や骨髄細胞/上清が保管されているかた			
④ 対象期間	2002年2月 から 2031年3月			
⑤ 研究機関の名称	九州がんセンター 血液・細胞治療科 熊本大学大学院生命科学研究部 血液・膠原病・感染症内科学			
⑥ 対象診療科	血液内科・細胞治療科			
⑦ 研究代表者	氏名	末廣陽子	所属	九州がんセンター 血液・細胞治療科
⑧ 使用する試料・情報等	<p>試料：診療目的で採取された末梢血・骨髄細胞/上清、病理標本等 情報：年齢、性別、身長、体重、生活歴、家族歴、既往症、血液検査結果、骨髄染色体検査結果、骨髄検査結果、末梢血・骨髄・生検組織フローサイトメトリー検査結果、病理組織検査結果等</p> <p>採取した血液を用いた検査等：全ての解析結果は匿名化された情報として収集されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● フローサイトメトリーを実施して血球細胞の表面マーカーの測定を行う。また、血清や血漿からサイトカインなどの液性因子を検索する。また、得られた血球細胞を用いて、増殖試験や細胞傷害試験、サイトカイン産生試験などの機能検査を実施します。 ● HTLV-1 特異的な細胞障害性T細胞（CTL）を同定し、その機能を検討するために、HLA-A血清型をフローサイトメトリー法にて調べる場合があります。 ● 感染細胞の遺伝子配列、遺伝子異常およびタンパク発現を調べる場合があります。 			

⑨ 研究の概要	<p>【目的】 本研究は、ヒトT細胞白血病ウイルス1型（HTLV-1）感染者において、推定される感染経路の違いに着目し、臨床病態の検討、感染細胞および免疫細胞の細胞特性、液性因子などを測定・比較し、感染経路ごとの違いを検討することを目的としております。当院受診のHTLV-1感染者を対象として、本多くのHTLV-1感染者にとって、成人T細胞白血病リンパ腫ATLの発症リスクの指標となる知見を得ることを目指しています。</p> <p>【方法】 九州がんセンターにおいて解析を行います。</p>		
⑩ 研究計画書等の閲覧等	<p>研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手または閲覧できます。</p> <p>詳細な方法に関しては、以下の問い合わせ先にご連絡下さい。</p>		
⑪ 結果の公表	<p>学会や論文等で公表します。</p>		
⑫ 個人情報の保護	<p>結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。</p>		
⑬ 知的財産権	<p>九州がんセンターに帰属します。</p>		
⑭ 研究の資金源	<p>血液・細胞治療科 受託研究費 特定企業からの資金援助はありません。</p>		
⑮ 利益相反	<p>ありません。</p>		
⑯ 問い合わせ先・相談窓口	<p>独立行政法人国立病院機構 九州がんセンター 血液・細胞治療科 末廣陽子</p>		
	電話	092-541-3231	FAX 092-542-8503